

講義ユニット名	眼科		所属科目名	器官・システム病態制御学Ⅱ
講義ユニット 責任者	きうち よしあき 木内 良明	所属	眼科 (内線 5245)	
		メール	ykiuchi@hiroshima-u.ac.jp	
講義ユニット コーディネーター	たけなか じょうじ 竹中 丈二	所属	眼科 (内線 5247)	
		メール	george-001@hiroshima-u.ac.jp	
授業方法	講義形式。パワーポイントを使用して、スライドを呈示しながら進める。			
概要	物が見える仕組みを理解し、眼病変の病態、治療を学習する。2cm強の小さな眼球だが、眼表面の疾患から眼内疾患、視神経疾患と病気は多岐にわたる。全身疾患に関連した眼疾患、眼科救急疾患についても学習する。			
講義ユニットの 到達目標	<p>眼球と付属器の構造と機能を説明できる。</p> <p>視覚情報の受容のしくみと伝導路を説明できる。</p> <p>眼球運動のしくみを説明できる。</p> <p>対光反射、輻輳反射、角膜反射の機能について説明できる。</p> <p>基本的眼科検査（視力検査、視野検査、細隙灯顕微鏡検査、眼圧検査、眼底検査）を列挙し、それらの原理と適応を述べ、主要所見を解釈できる。</p> <p>眼・視覚系に関する主要症候（視力障害、視野異常、眼球運動障害、眼脂・目の充血、飛蚊症、眼痛）を列挙し、それらの発生機序、原因疾患と治療を説明できる。</p> <p>屈折異常（近視、遠視、乱視）と調節障害の病態生理を説明できる。</p> <p>伝染性結膜疾患の症候、診断と治療を説明できる。</p> <p>白内障の病因、症候、診断と治療を説明できる。</p> <p>緑内障の病因を列挙し、それらの発症機序、症候と治療を説明できる。</p> <p>裂孔原性網膜剥離の症候、診断と治療を説明できる。</p> <p>糖尿病、高血圧・動脈硬化による眼底変化を説明できる。</p> <p>ぶどう膜炎の病因、症候、診断と治療を説明できる。</p> <p>うっ血乳頭の病因、症候と診断を説明できる。</p> <p>視神経炎・症の病因、症候と診断を説明できる。</p> <p>化学損傷（アルカリ、酸）の症候と救急処置を説明できる。</p> <p>色覚多様性<色覚異常>を概説できる。</p> <p>網膜静脈閉塞症と動脈閉塞症の症候、診断と治療を説明できる。</p> <p>網膜芽細胞腫の症候、診断と治療を説明できる。</p> <p>網膜中心動脈閉塞症の症候、診断と治療を説明できる。</p>			
講義日程	別紙日程表を参照のこと			
出席の取り扱い	出席状況把握システムにて毎講義出席をとる。 3分の2以上の出席がない場合は試験（本試験、追試験とも）の受験資格を与えない。			
評価項目	到達目標の達成度 （基本的理解と知識の応用）			
評価法	MCQ形式にて試験を行う。 本試験における合格基準は60点とする。			
推奨参考書	【購入を推奨する参考書】 標準眼科学 監修：大野重昭 医学書院			